



Washington Japanese Language School

ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>

2019年6月8日発行 第10号

ワシントン日本語学校
校長 森 宏 介

[ワシントン日本語学校事務局]
HOT LINE (301)962-7415
TEL (301)962-7410
FAX (301)962-7411



海外子女教育振興財団主催

特別講演会

お子さんは日常生活に加え、現地校で学ぶことを通して英語力を身につけています。せっかく身につけた英語力を帰国後も保持させたいというのは、皆様に共通した願いであるに違いありません。5月12日に開催した特別講演会では、米国ケンタッキー州立ミュラー大学大学院客員教授等を経て現在、大妻女子大学や早稲田大学で教鞭をとっていらっしゃる服部孝彦先生に、帰国後の英語力保持のためのポイントについてお話していただきました。ここでは、その話の中心部分をお知らせいたします。

ポイント1：言語の喪失は考えている以上に早い

- ・帰国後1年を経過して海外子女教育財団の外国語保持教室入級試験を受けた子どものほとんどが合格に達しない。外国語の忘却が進んでいるからである。同教室へ入るためには、3か月以内の受験が必要。
- ・帰国後、外国語保持教室に通った場合でも、外国語に接する時間は以前の1/55と極めて少ない。
- ・帰国生に共通しているのは、流暢さがなくなり、同時に語彙を忘れてしまうことである。

ポイント2：受動的技能の喪失は比較的遅い

- ・喪失は、語彙→形態→統語→音韻の順で進行する。
- ・能動的技能（話す・書く）の喪失は早い、受動的技能（聞く・読む）の喪失は比較的緩やかである。
- ・聞く力と発音はそう簡単には失わない。帰国後1年を経過して流暢さや語彙の喪失が進んでいても聞く力と発音は帰国直後と大きく変わらない。

ポイント3：外国語保持のために大切なこと

- ・外国語の読み書きが定着している子どもほど、帰国後の忘却が遅くなる。読み書きの能力を身につけるまで学習させることが大切である。
- ・外国語保持で大切なことは、言語に触れる時間と質である。質の良い外国語をインプットするには本を読むことが効果的である。
- ・外国語に対する親の態度はそのまま子どもに影響を与える。第二言語保持に肯定的な親の子どもは保持に成功するケースが多い。

校長よりひとこと

服部先生の講演は、ためになるお話の連続でした。その概要はここに記した通りですが、裏を返せば、日ごろ英語で学習している子どもが日本語力を保持することがいかに難しいかを物語っていると言えそうです。日本語力保持のためにも、保護者自身が言語保持に肯定的であることに加え、音読等を通しての適切な日本語環境づくりに努めたいものです。





米国ヤマト運輸

日本へご帰国？ クロネコヤマトの選べる3つの引越プラン



ご家族でお引越は任せてらくらく！

荷造りから荷解きまで
全て任せてらくらく、
ママもご機嫌！

これで皆で
遊びに行けるよ♪

不要家財引取りや
簡易お掃除など
豊富なオプション
サービスも助かるわ～



引越 らくらく 海外パック

資材のご提供、荷造り、輸送まで全て含まれているサービスです。
お客様とお打ち合わせの上、原則取り決めたお時間帯で作業致します。
お引越の際には日本語が話せるスタッフがお伺い致します。
急なご要望にも日本語で対応いたします。
お引越後のお掃除、譲渡家具の配送も承ります。
トラッキングでお荷物の輸送状況を確認できます。
日本以外の世界中へのお引越についてもご相談ください。

お荷物の少ない方や、留学後の帰国に最適！

学生、個人、お荷物の少ない方に最適！
自分で梱包の格安引越プラン

- ◎箱やテープなどの梱包資材は弊社にてご用意致します。
- ◎荷造り・書類作成・日本での荷解きをご自身でお願いします。
- ◎手配の打ち合わせは日本語でサポート致します。
- ◎お荷物量に応じて4コースからお選び頂けます。
箱の組み合わせは自由です！
- ◎所要日数はお荷物引取り後、「単身プランSea」は、50～60日程。
「単身プランAir」は、7～10日程。
- ※どちらのプランもお客様が日本に到着後の配達となります。



単身プランSea



すぐに必要ではない
お荷物は船便で割安に



単身プランAir



必要なものを
最短の所要日数でお届け



米国ヤマト運輸 ワシントンDC支店
113 Executive Dr. Suite 118, Sterling, VA 20166
Email : wasoperat@yamatoamerica.com
TEL : (703)-435-4377



日本語でお気軽に！



各サービスの詳細はウェブサイトでご覧いただけます。

www.yamatoamerica.com

校長主催の座談会について

先週発行のはなみずき第9号でお知らせしましたように、6月15日の9時30分より、校長主催の座談会を開催いたします。この会は、「学校（校長）と保護者の相互理解を深めるとともに、日本語学校（補習授業校）はどのような性質の学校であり、そこでお子さんが成長していくためにどんなことが大切かについて共に考えようとするものです。形式にとらわれないざっくばらんな集いにしたいと思います。是非ご参加ください。

座談会の概要は以下の通りです。

- 1 校長の自己紹介と情報提供
 - ・シンガポールの3年間を振り返って
 - ・ワシントン日本語学校の特長
 - ・国語教育の充実と安全対策
- 2 テーブルごとに意見交換
 - ・アイスブレイキングを兼ねた自己紹介
 - ・テーマに沿った意見交換（グループで）
 - ・シェアリング
- 3 校長に質問

子育てに関して、何でも気軽に相談できる相手があると心強いことでしょう。外国で子育てをする皆さんにとっては、なおさらであると思います。

私は、職業柄、明るく生き生きと子育てを楽しんでいる人を知っています。そのような方々の共通点は、ちょっとしたことでも相談できる「親しく仲の良い友人」をもっていることです。「社会の絶縁化」が進むなか、同じ地域や学校を縁にして友人の輪を広げたり、じっくりと語り合うことで信頼関係を築いたりすることは、極めて大切であると思います。

座談会の表のねらいは「学校と保護者の相互理解促進」ですが、私は、今回の座談会が共にこの地で子育てに励む仲間を見つけるための役に立って欲しいと願っています。この座談会が「子縁（子どもを通した親同士のつながり）」を形成するきっかけになればと考えています。



近隣補習校支援も派遣教員の職務です

6月1日、ニューポートニュース補習授業校よりモース結子先生とブラウン靖恵先生が視察に來られました。校長の学校概要の後、お二人の先生には、それぞれ6年生と2年生のクラスを中心に算数や国語、理科の授業を参観してもらいました。

終了後は、質問会を設けるなどしたため、研修会としても機能したのではないかと考えています。

ワシントンのような大規模補習授業校には、文部科学省から教員が派遣されますが、ニューポートニュース校は、児童生徒数100名以下の小規模校であるため、派遣教員はいません。そのため近隣校の派遣教員は、あらかじめ文科省が定めた割り当てに沿って、学校の運営や教員研修などの支援をすることになっています。

今回は、本校にお越しいただきましたが、11月9日には、校長がニューポートニュース補習授業校に出向き、モデル授業を行うとともに、授業研究会の講師として直接指導、支援をする予定です。

ワシントン日本商工会訪問

5月28日、松井委員長、廣吉副委員長、野崎財務部長、佐藤広報部長、田寄事務局長と共に、ワシントン日本商工会を訪問しました。地域協力担当理事の松野泰様、池谷直英様に学校の現状についての説明をするとともに今後の学校運営へのご理解とご支援をお願いしてきました。

